

RESAS

を分析してみよう

和歌山県
橋本市

RESAS（地域経済分析システム）は、地域経済に関する様々なデータ（産業の強み、人の流れ、人口動態など）をグラフで分かりやすく「見える化（可視化）」したシステムです。データに基づいた地域の実情を把握・分析できるので、ぜひ参考にしてみてください。

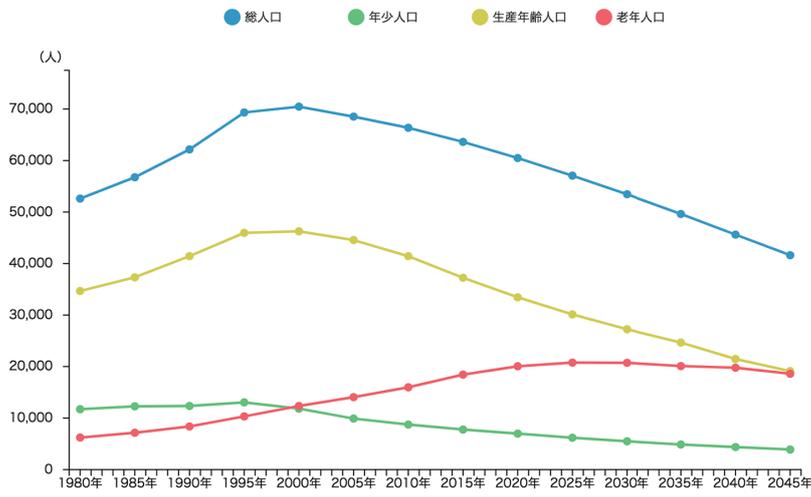


<https://resas.go.jp>

RESAS



人口



年齢別人口推移

2015年の人口は総人口63,621人。10年前（2005年）の68,529人と比較して減少している。今後も減少傾向が続く見込みである。年齢別に近年の傾向をみると、①年少人口は1995年以降減少傾向、②生産年齢人口は2000年以降減少傾向、③老年人口は2025年まで増加、その後減少に転じる。今後も少子高齢化が進んでいくことが予想される。

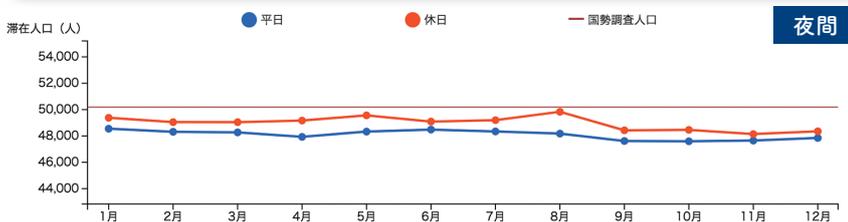
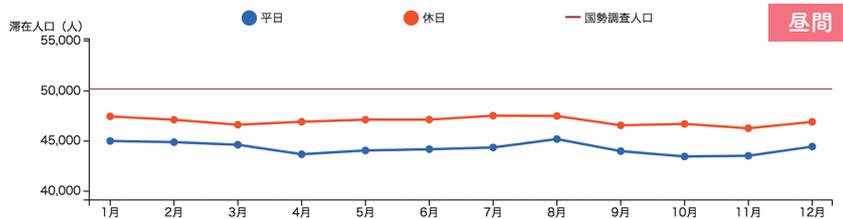
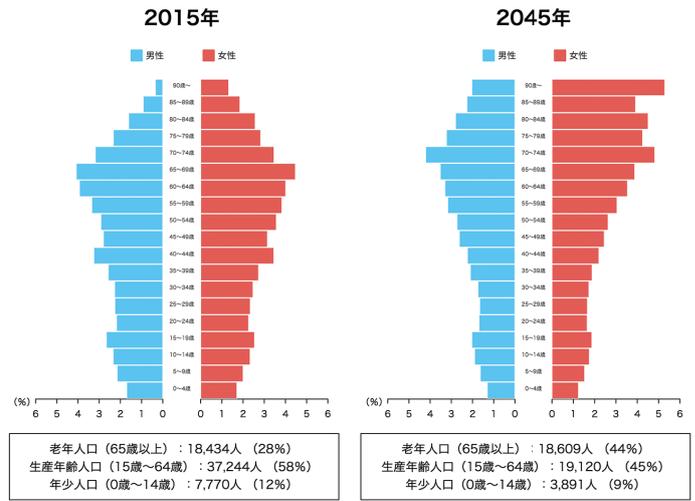
※年少人口は15歳未満、生産年齢人口は15～64歳、老年人口は65歳以上をさす

* 人口マップ→人口構成→人口推移

人口ピラミッド

現在と将来の年齢別人口構成を示したグラフである。2015年、2045年の人口ピラミッドは共に「つぼ型」。老年人口の割合をみると、2015年の28%から2045年には44%まで増加する。一方、生産年齢人口は2015年の58%から2045年には45%まで減少する見込みである。

* 人口マップ→人口構成→人口ピラミッド



滞在人口 (2018年、上:昼間、下:夜間)

橋本市に滞在している人の数を月ごとに示したグラフである。平日の昼間人口（滞在人口率0.88倍）よりも夜間人口（滞在人口率0.96倍）が多く、他の地域から通勤してくる人口（流入人口）よりも他の地域に通勤する人口（流出人口）が多いといえる。

※昼間は14時、夜間は20時のデータを掲載している

* まちづくりマップ→滞在人口率

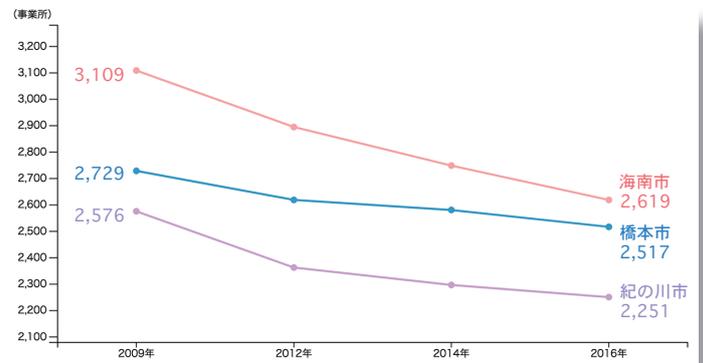
産業構造

対象地域：橋本市
比較地域：海南市、紀の川市

事業所数（事業所単位）：2,517 事業所



* 左：産業構造マップ→全産業→全産業の構造
* 右：産業構造マップ→全産業→事業所数



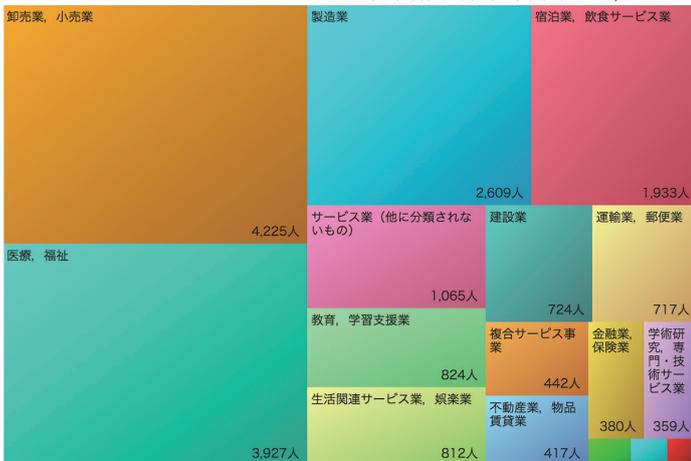
事業所数（事業所単位）大分類（2016年）

業種ごとの事業所数を面の大きさで示したグラフである。もっとも多いのは「卸売業、小売業」で640事業所。全体の25.4%を占めている。その後、「建設業」の305事業所、「宿泊業、飲食サービス業」の280事業所が続く。

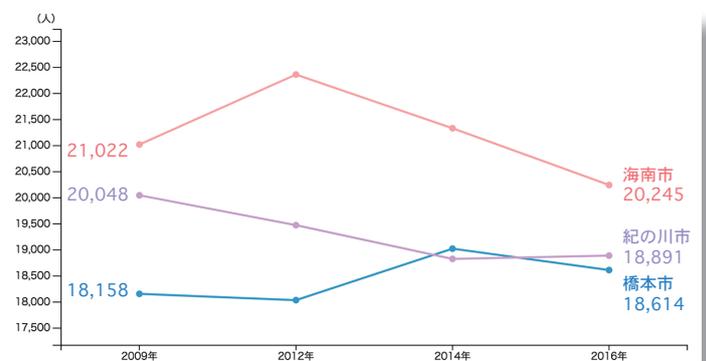
事業所数の推移

事業所数の推移をみる。2016年の事業所数は2,517事業所。7年前の2009年と比較すると7.8%減である。他地域をみると、海南市は15.8%減、紀の川市は12.6%減となっており、これらの地域と比較すれば減少率は少ない。

従業者数（事業所単位）：18,614 人



* 左：産業構造マップ→全産業→全産業の構造
* 右：産業構造マップ→全産業→従業者数（事業所単位）

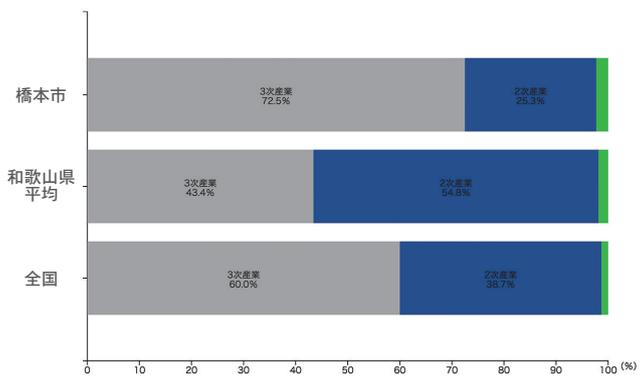


従業者数（2016年）

業種ごとの従業者数を面の大きさで示したグラフである。もっとも多いのは「卸売業、小売業」で4,225人。全体の22.7%を占めている。その後、「医療、福祉」の3,927人、「製造業」の2,609人が続く。

従業者数の推移

従業者数の推移をみる。2016年の従業者数は18,614人。7年前の2009年と比較すると2.5%増である。他地域をみると、海南市は3.7%減、紀の川市は5.8%減となっており、これらの地域とは逆に従業者数が増加していることがわかる。

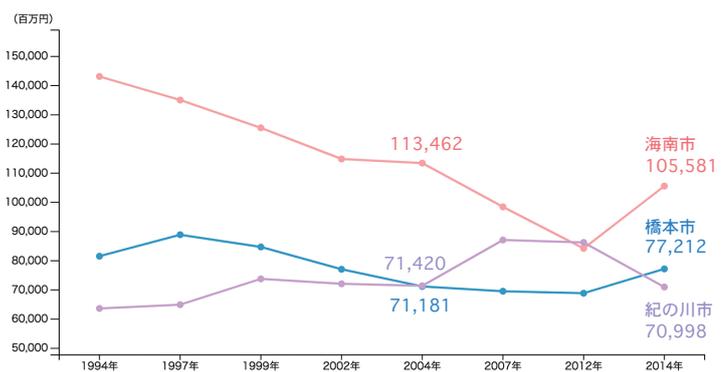


* 地域経済循環マップ→生産分析

地域内産業の構成割合

橋本市の産業の構成割合を全国および和歌山県と比較したグラフである。橋本市は第3次産業の割合が72.5%であり、全国の60.0%と比較して非常に高くなっている。一方、第2次産業の割合は低い。

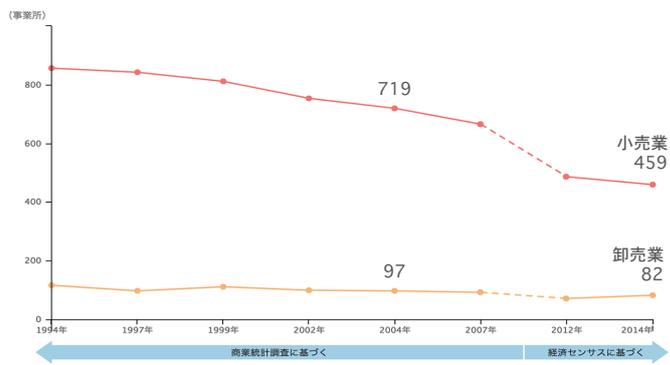
小売業・卸売業



* 産業構造マップ→小売・卸売業（消費）→年間商品販売額

年間商品販売額の推移

小売業・卸売業の年間商品販売額の推移を示したグラフである。橋本市の販売額は772億円。10年前の2004年と比較すると8.5%増である。他地域をみると、海南市は6.9%減、紀の川市は0.6%減となっており、橋本市はこれらの地域とは逆の傾向にあることがわかる。

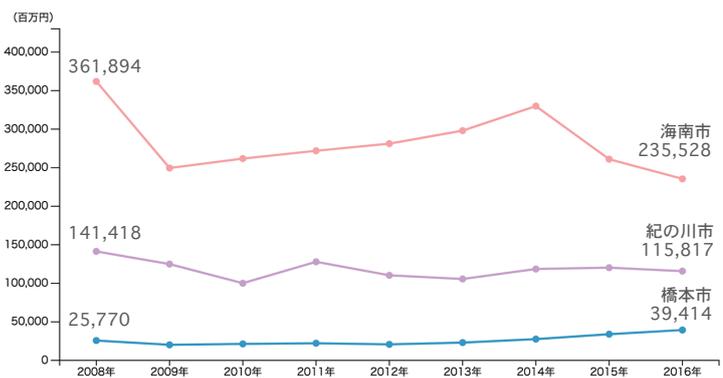


* 産業構造マップ→小売・卸売業（消費）→商業の構造

事業所数（小売業・卸売業）の推移

小売業・卸売業の事業所数の推移を示したグラフである。2014年の事業所数は、小売業459事業所、卸売業82事業所。10年前の2004年と比較すると小売業は36.2%減、卸売業は15.5%減となっている。

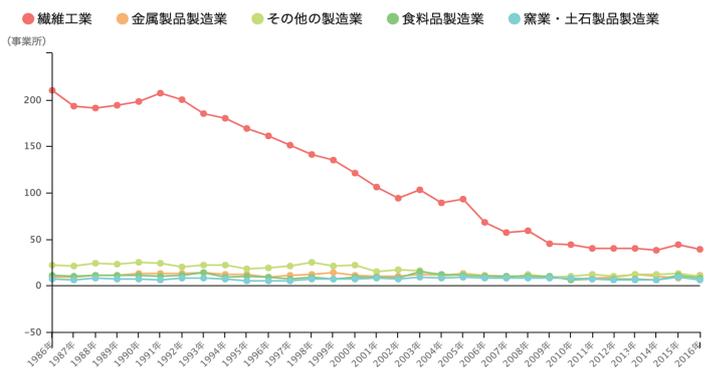
製造業



* 産業構造マップ→製造業→製造品出荷額等

製造品出荷額等の推移

製造業の製造品出荷額等の推移を示したグラフである。橋本市の出荷額等は394億円。8年前の2008年と比較すると52.9%増である。他地域をみると、海南市は34.9%減、紀の川市は18.1%減となっている。



* 産業構造マップ→製造業→製造業の構造

事業所数（主要製造業）の推移

主要製造業の事業所数の推移を示したグラフである。橋本市には繊維工業が多い。しかし、10年前の2006年と比べると、繊維工業の事業者は42.6%も減少している。

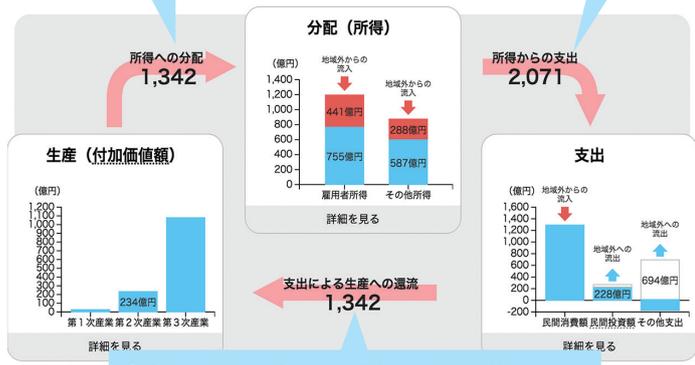
地域経済循環

地域経済循環図 (2013年)

地域内企業の経済活動を通じて生産された付加価値は、労働者や企業の所得として分配され、消費や投資として支出されて、再び地域内企業に還流する。この流れを示したものが地域循環図である。

①橋本市の企業は合計1,342億円の付加価値を生み出している。

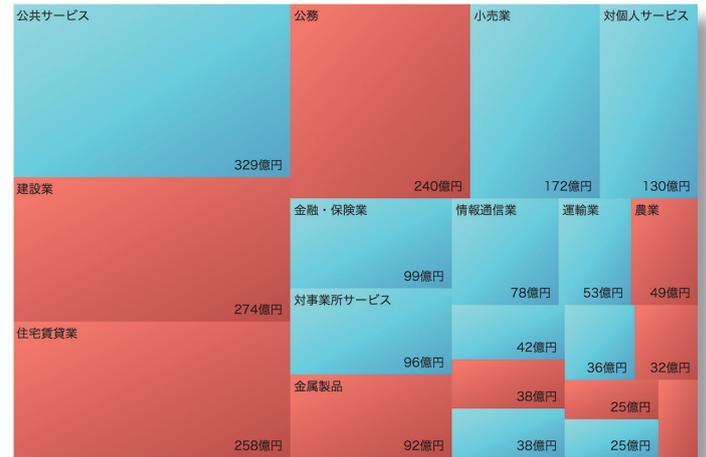
②付加価値のうち、支出に回されるのは2,071億円。市外からの流入があるので付加価値額を超えている。



* 地域経済循環マップ→地域経済循環図

生産分析 (2013年)

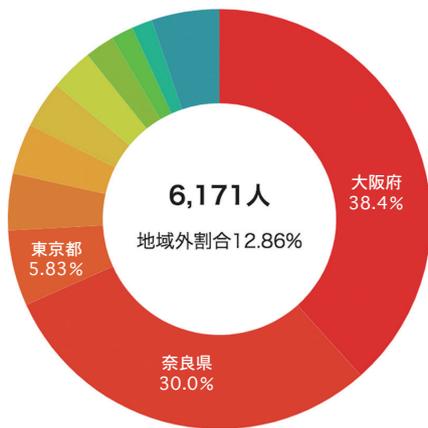
左図の生産 (付加価値) の内訳を面の大きさで示したグラフである。付加価値が高いのは「公共サービス」「建設業」「住宅賃貸業」である。なお、グラフの色は、地域外から稼いでいる産業 (赤色) と地域外から必要としているものを調達している産業 (青色) を表している。「建設業」「住宅賃貸業」が赤色であり、地域外から稼いでいる産業であることがわかる。



* 地域経済循環マップ→生産分析

まちづくり・観光

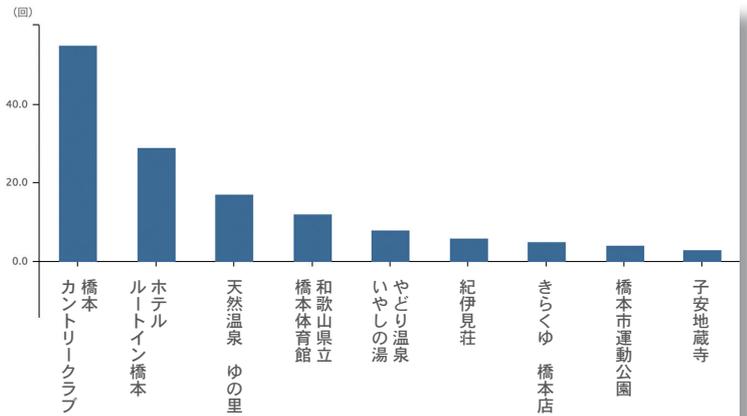
休日、14時の滞在人口



* まちづくりマップ→From-to分析 (滞在人口)

From-to 分析 (滞在人口) (2018年8月)

休日、14時にどの都道府県から観光客等が来ているかを示したグラフである。大阪府が38.4%と最も多く、奈良県30.0%、東京都5.83%が続く。



* 観光マップ→国内→目的地分析

目的地検索ランキング (2018年3月・休日)

カーナビで経路検索された回数が多い場所をランキング形式で示したグラフである。「橋本カントリークラブ」「ホテルルートイン橋本」「天然温泉 ゆの里」「和歌山県立橋本体育館」の検索回数が多い。

発行：橋本商工会議所

〒648-0073 和歌山県橋本市市脇1丁目3番18号

TEL: 0736-32-0004 FAX: 0736-33-3326

URL: <http://www.hashimoto-cci.or.jp/>

